



# アーユ ボーワン



学校だより R7.12.9

No.6 齊藤 康輔

## 第59回 JSC フェスティバル

### ご協力ありがとうございました。

『サイクロンの襲来』による「Jフェスの延期」…本当に『**先行き不透明**』な**出来事**でした。学校としては、「子どもたちの発表の場」を何とか確保してあげたい…という気持ちでいっぱいでした。しかし、延期になると「子どもたちの気持ちがキープできるか」という心配もありました。3日（水）からの通常登校が決まった時点で、『**子どもたちの心に火を付けよう！**』と…気合いが入りました。

今回の延期については、様々なご意見があったと思います。これからの予定や行事を考えていく中で「平日開催」を決定させて頂きました。平日開催になるとお仕事の都合で**参観が出来なくなってしまう方々が多くなります**。本当に申し訳なく思っています。子どもたちの姿を直接ご覧頂くことが出来なくなってしまうしました。そのような中でも、保護者の皆様方から、子どもたちに温かい声援と大きな拍手をたくさん頂くことが出来ました。子どもたちも『**粋に感じた**』ことでしょう。改めまして、ご協力本当に感謝いたします。



当日の子どもたちは、本当に『**粋**』に感じていると思いました。しっかりと『**楽しみながら**』**自らの役割を果たしている**と感じました。「**一生に一回きりのこのメンバーで出来る最初で最後のJフェス**」を本当に楽しんでいたと感じました。

『和太鼓』では…先月転出をした仲間のソロ演奏を全員で行いました。参加が叶わなかった仲間の気持ちに寄り添った演奏でした。『南中ソーラン』の演舞も、本番の演舞が最もキれていました。動作の一つ一つに躍動感が増していました。この本番に一人一人が全力を出したと考えて間違いはないと感じています。…『プレゼン』も『英語劇』も『合唱』も全て素晴らしい発表でした。子どもたちの可能性に感動しました。

『一致団結！僕が、私が輝く！最高の舞台へ！』…今年の「スローガン」は達成されていると感じました。『最高の舞台』のために、全員で『円陣を組んで』気合いを入れる姿に…  
「たのしくなった14人」の成長を感じました。

一つ一つの行事の場面が「**成長の評価場面**」であると改めて感じています。日常の学習内容はもちろんですが、『我慢する』『耐える』『気持ちを込める』『想いを伝える』『発信する』『認め合う』『励まし合う』等…日常的に『人とのつながりの中で生きている』という積み重ねが、『力として身に付いたかどうか』を確かめられるのが「**Jフェスのような場面**」であると思います。そして、「成長した姿」を見ることで…我々大人は『自分の在り方』を振り返ることが出来るのではないのでしょうか…。子どもたちの姿に…『ありがとう』と心から言える『JSC フェスティバル』だったと感じています。

改めまして、保護者の皆様・ご来賓の皆様…本当にありがとうございました。



### 【12月行事予定】

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 1日（水）全校朝会             | 15日（月）人権集会         |
| 8日（月）人権週間スタート         | 17日（水）個人懇談 宿泊学習説明会 |
| 9日（火）水泳記録会            | 18日（木）図書集会 岩見西小交流会 |
| 11日（木）中学部期末テスト        | 24日（水）第2学期終業式      |
| 12日（金）カラチ日本人学校オンライン交流 |                    |